

Weekly Bulletin 2013-2014



RI会長
ロンD.バートン



ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を

静岡東ロータリークラブ

会長/高柳正雄 幹事/高田雅司

事務局/静岡市葵区追手町2-112 静岡安藤ハザビル5F TEL054-254-5611

例会場/ホテルアソシア静岡 例会日/毎週 木曜日 12:30~13:30

<http://www.shizuoka-east-rc.jp>



会長
高柳正雄

第 2667 回例会

平成 26 年 5 月 15 日 天候 曇り

《司 会》 高田雅司 君

《合 唱》 「我等の生業」

《BGM》 「我がロータリーに栄えあれ」

《来賓》 映画プロデューサー 早川潤子氏

《ビジター》 なし

《本日のお祝い》

お誕生日
該当者なし

結婚記念日

5月20日 多賀 洋君
5月21日 曾根正弘君

《会長挨拶要旨》



最近あまり言われないうちに思いますが、五月病という言葉があります。新入社員や大学の新生入生などが、新しい環境に適応できず発症する精神的な症状の総称です。人によってはうつ病に似た症状がゴールデンウィーク明け頃から起こりますが、医学的には「適応障害」あるいは「うつ

病」と診断されるようです。完璧主義で物事にこだわりがちな人、内向的で孤立しやすい人、過保護に育てられた人などが五月病になりやすいといわれています。

五月病かと思うような社員がいたらまず話を聞いてやること、この時「そうすべきではない」という批判や「その場合はこうしたほうが良い」というアドバイスをしないことがポイントだそうです。某カウンセラーによると「話す」ことは「放す」に通じ、相手が頭の内に抱えているものを言葉によって外に出してやるそうすると体から悩みが出て行くのだそうです。「何でも話していいよ」「そして?」「それから?」と、相手

の目を見て、うなずきながら、話を最初から最後まで聞いてやるのが大切で、間違っても「わたしが若い頃は…」という武勇伝を話してはいけません。

厚生労働省によると、平成 22 年(2010 年) 3 月に卒業した大学生の離職率は、ハローワークに提出される雇用保険加入届、離職届のデータからの推計ですが 1 年目までに 13.4%、2 年目までに 23.3%、3 年目までに 31.0%とされています。

辞める理由がすべて後ろ向きではなく、中にはノウハウを覚え時流に生かせる商売方法を見つけ起業に興味をもって辞めるという人もいます。離職=悪いとは言えませんが、一企業を経営する立場からすればせつかく育てた人材には長く在籍して欲しいと願うのが自然です。

中国の古い言葉に「十年河東、十年河西」というのがあります。河の東岸に住む住民と西岸に住む住民が十年毎にその繁栄が入れ替わるというニュアンスで十年も経てば別の価値観と流れが出来て、どちらにも必ずチャンスは巡ってくることを意味します。

我々の世代は、失われた 10 年を失われた 20 年以上にしてしまいましたから、偉そうなことは言えませんが、若い世代には新しい流れを待つ根気と逆境を切り開く勇気を期待したいところです。

《来賓卓話》

「今 子どもたちに伝えたい「優しさ」「助け合い」「決断力」」 映画プロデューサー

早川潤子 氏



3 年かけて自主映画を製作し、この 2 月に完成試写会を静岡で開催いたしました。

今から 20 年前、子供達が外で安心して遊べる社会を作るにはどうしたらよいか子供達が大人になったときに、良い世の中になっているためにはと当時考えてい

ました。その頃「地球交響曲」と言う映画を見て感動し、意識と価値観が大きく変わりました。自分で映画の自主上映をやってみようと思いました。その後、自分の子供達も大きくなって、一旦社会活動は休止ししばらくPTA活動など母業に専念していました。

3年前に父が亡くなり、その直前に東日本大震災もあって、自分がどうやってこれから人生を歩いていこうかと考えていた時期がありましたが、自分がやり残していた事があったことを思い出しました。映画と言うものに縁がありました。「地球の秘密」という環境アニメの映画を小学校の子供達に見せていたことも思い出しました。そして、もう一度映画で社会に関わって行きたいと考えました。そして3年かけて出来た映画が「ありがとうジロー」です。

映画は、募金犬として人気を集めた柴犬ジローと飼い主で横須賀市在住の蒲谷哲さんの物語です。蒲谷さんは平成6年にジローと募金の旅に出て日本を一周しましたが、翌年に阪神大震災が発生し、以降被災地救援のために日本を一周しては神戸に募金を届けるという活動が4年間続きました。毎日、昼はバイクで各地を回り募金活動、夜はテントで寝る生活でした。この活動に感銘して、静岡滞在の際には、募金活動や宿泊の提供など蒲谷さんの応援をしていました。ところが、蒲谷さんは日本一周の5週目の平成11年4月に訪問先の京都・嵐山で突然脳出血で倒れ、蒲谷さんを探したジローが車にはねられるという悲劇がかさなりました。蒲谷さんは左半身が、ジローは下半身が不自由になりましたが、懸命のリハビリで再起し、平成12年12月に、横須賀から神戸までジローをサイドカーに乗せて原付バイクで走破し、神戸市に最後の募金を届けることができました。

映画はこの物語を紙芝居と言う形で、上映時間は30分になっています。作画を担当したのは「巨人の星」などを手がけ、モスクワ国際映画祭映画技術賞を受賞したアニメ作画監督の香西隆男さんです。

保険事務やホームページの製作など、自分で働きながら映画作成の費用を捻出していました。家族の多くの応援と理解がありました。

蒲谷さんとジローの人を思う心を子供達・後世に伝えたいと思っています。相手を思いやり助け合う心お互い様と言う考え、そして人生迷うときの自分自身で決める心を30分の中で子供達に伝えていきたいです。これから、各地の小学校で上映していければ良いなと思っています。清沢小学校で1月に上映した際子供達の見線もどんどん真剣になっていきました。子供達が将来困ったときに、この映画のことを思い出してもらえると感じた手ごたえはありました。

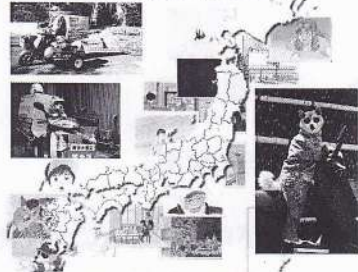
この映画を通じて、蒲谷さんとジローの代わりに、新たに「ありがとうジロー」が日本一周を走り出したかなと感じています。英訳して世界へと言うことも始めています。是非一度上映会に見に来ていただければと思います。

ありがとう ジロー

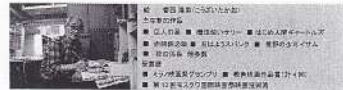


覚えていますか？災害被災地復興のために
バイクで日本一周募金の旅をした一人と一匹
柴犬ジローとお父さんを！

初めてこの映像でジローとお父さんに出会う方々も
きっと大きな感動が待っています。



学校、職場、各種団体など、上映とお話の会を開催しています。
「ありがとうジロー」上映とお話の会のお申し込み先
Tel:06-2330-4181 Email:thankyou-jiro@nifty.com
ありがとうジロー制作実行委員会 早川までお話しします。
公式サイト: <http://www.ohgata-jiro.com/>



《スマイル報告》

- 曾根 正弘 君 地域貢献の志を持った早川潤子さんを卓話者にお迎えできて幸いです。
- 高柳 正雄 君 東京で旧友(悪友)と鳥取料理、宇和島料理をハンゴしました。関サバは四国側で獲ると関サバとは言わないようですが、味も値段も多分同じくらい結構なものでした。楽しく美味しかったのでスマイルします。
- 川口 尚宜 君 ピンチです。予算130万円が前例会までで83万円です。本日の例会を入れてあと6回のチャンスに47万円のスマイルをお待ち致しております。皆様どうぞよろしく願い致します。

《出席報告》

	会員数	出席	欠席	MU	完全欠席	確定出席率
5/15	52(51)	36	14	-	-	-
5/8	52(51)	44	7	-	-	-
4/24	53(51)	34	17	8	9	82.35%